

原発の即時停止を！安心・安全なエネルギー政策への転換を

福島県の原発事故から1年半が経過しました。福島では、「子どもの放射能が心配」など、原発事故の最大の被害者が小さな子どもたちであることに胸が痛みます。電力会社のコストを優先するのではなく、原発の即時中止を求めて頑張ります。



大飯原発を視察
(フラッグを持つ、左が味口議員・中央が筒井哲二朗さん)

原発再稼働撤回・「原発ゼロ」へ転換を

大飯原発の再稼働にたいし、首相官邸前には毎週数万人の人々が集まり、抗議の声をあげ続けています。関西電力は、「計画停電」などと市民を脅かしながら、大飯原発を再稼働させましたが、先般、今夏の需給結果を明らかにし、「原発を動かさなくても、電力は足りていた」ことを認めました。「再稼働しないと電力不足に陥る」と

後押しをした政府の責任は重大です。

味口議員は、この間、繰り返し議会で、大飯原発は神戸市民の水がめである琵琶湖にも近く、福島のような事故が起これば、神戸市民にも甚大な影響を与えることを明らかにし、市長が原発再稼働中止を国に求めるべきだと追及してきました。

神戸で、自然・再生可能エネルギーの本格的活用を

政府が取り組んできた「国民的議論」についてのまとめで、政府自身が、「国民の過半数が原発ゼロを望んでいる」ということを認めました。パブリックコメント(意見公募)でも、8割が即時の原発ゼロを求めているということが明らかに

なりました。民意は明瞭です。

味口議員は、議会で、「神戸市でも自然・再生可能エネルギーの本格的活用」を提起し、そのための調査をすすめることや、神戸市でも部局・セクションを作るなど体制をとることを求めています。



中川防災大臣 借上住宅入居者のみなさんと要請に

味口議員は、神戸市借り上げ住宅入居者連絡会の代表とともに、中川正春防災担当大臣と面会。「このまま、公営住宅として住み続けられるよう、国として努力してほしい」と訴えました。

交渉に参加した全盲の女性は「やっと当たった住宅。住み続けられるよう、よろしくお願いします」と切々と訴え。味口議員は、神戸市のかたくなな姿勢が、被災者である借り上げ住宅の入居者を苦しめ続けている実態を告発しました。

中川大臣は、「東京まで出てきてもらい、貴重な意見を聞かせてもらった」「工夫できることがないか、神戸市や兵庫県と話をすることはできる」「国としても柔軟な対応を検討する」などと答えました。

阪神・淡路大震災以後、避難所・仮設住宅と苦労に苦労を重ねてきた被災者を苦しめる神戸市の姿勢をかえるため、引き続き頑張ります。



中川防災担当大臣(手前)に要請する味口議員

なんでもお気軽にご相談ください!

日本共産党灘区委員会

〒657-0043
神戸市灘区大石東町6-7-4
TEL.078-881-2581
FAX.078-882-5402
E-mail:aji1020@hotmail.co.jp

市会控室

〒650-0001
神戸市中央区加納町6-5-1
市役所1号館27階
TEL.078-322-5847
FAX.078-322-6165

味口俊之プロフィール

1969年10月20日神戸市生まれ 灘区弓木町在住
2011年4月神戸市議会議員選挙で初当選
現在、文教子ども委員会・外郭団体に関する特別委員会委員
趣味:音楽鑑賞(ROCKから演歌まで)、囲碁
家族は、妻と息子(1歳)

ブログ「味口としゆき雑記帳」
<http://aji1969.14dtiblog.com/>

みなさんのご意見
お待ちしております!



雨水対策など 実現に頑張っています!

地球温暖化に起因する異常気象、ゲリラ豪雨などが、灘区でも起こるなかで、「雨水が流れるようにしてほしい」「水が溜まって困っている」という問い合わせが、相次いでいます。

味口議員は、連絡を受けると、現場に行き、関係者から事実確認したうえで、東部建設事務所などとかけ合い、溝蓋の改修や雨水が流れるように対処してもらおうなどしています。



▲43号線沿新在家交差点歩道橋南側

ご近所などでの困りごとは、お気軽にご連絡ください。